



## S U B A R UグループのCSR重点領域： 人を中心とした自動車文化



### 基本的な考え方

「クルマは単なる移動手段ではない。」と考えます。

S U B A R Uは、「安心と愉しさ」といった人の「感性」を大切にし、人の心や人生を豊かにするパートナーとなる商品やサービスを付加価値としてお客様に届け、持続可能なモビリティ文化を醸成します。

### 重要とした理由

S U B A R Uグループは、人々の多様な価値観を尊重し、多様な市場価値に対応した個性的な商品を提供していくことで、お客様の選択肢を増やすことに貢献してきました。私たちは、クルマを単なる移動手段ではなく、人の想いを受け止め、それに応える「人生を豊かにするパートナー」であると考えます。「モノをつくる会社から笑顔をつくる会社へ」— S U B A R Uグループはこれからもお客様一人ひとりの「安心と愉しさ」といった人の「感性」を大切にし、人生におけるライフスタイルやライフステージの変化とクルマを結び、人が主役の自動車文化の発展と普及を担っていきます。

▶ [CSR重点6領域選定プロセス](#)



## 基本的な考え方

---

人と人とのコミュニケーションの輪を広げ、一人ひとりのお客様および社会の声に真摯に向き合うことで、信頼・共感され、共生できる企業になります。

## 重要と考える理由

---

S U B A R Uは、企業活動を行っていくうえで重要となるステークホルダーの一つが、お客様と地域社会であると考えています。「お客様第一」はもちろんのこと、事業を展開する地域社会においても、多くの人々にS U B A R Uは支えられてきました。S U B A R Uは、日頃のコミュニケーションを通じて、お客様には商品やサービスに対し、また地域社会には地域における企業活動に対し、信頼され共感していただくことで、共感・共生のコミュニティを形成し、企業としての持続的成長を図っていきます。

＜ CSR重点6領域選定プロセス



S U B A R UグループのCSR重点領域

安心

## 基本的な考え方

すべてのステークホルダーが「最高の安心」を感じていただける存在となります。

## 重要と考える理由

S U B A R Uは、クルマに求められる安心感を、クルマづくりやサービスを通して実現します。お客様が安心して長く使い続けていただける「品質」No.1を目指し、品質に関わる全プロセスを不断に見直していきます。そして、「人の命を守る」ことにこだわり、2030年に死亡交通事故ゼロ※を目指して取り組みます。他方で、地域で操業する製造業として地域社会にもS U B A R Uなら安心とさせていただくこと、またS U B A R Uグループで働くすべての人々が安心して働け、かつ、安全な職場環境をつくることも不可欠です。さらには、交通事故などクルマに関わる社会課題の解決にも貢献していきます。S U B A R Uは、お客様・地域社会・従業員をはじめとするすべてのステークホルダーにとって、「最高の安心」を感じていただける企業となることを目指していきます。

※S U B A R U乗車中の死亡事故およびS U B A R Uとの衝突による歩行者・自転車等の死亡事故をゼロに

▶ CSR重点6領域選定プロセス



## SUBARUグループのCSR重点領域： ダイバーシティ



### 基本的な考え方

多様な市場価値を尊重した商品の提供と、SUBARUグループで働くすべての人々の多様な価値観の尊重と反映がSUBARUグループのダイバーシティと考え、推進します。

### 重要と考える理由

今日、社会的要請として、従業員のダイバーシティや多様な働き方が広く企業に求められています。一方で、SUBARUは、今後とも多様な市場価値を尊重し、お客様の選択肢を増やすことに貢献する商品を提供することが、企業の持続的成長にもつながると考えています。そのためには、SUBARUグループで働く人々の視点にも多様性が求められます。このように、SUBARUにとってのダイバーシティは、「商品のダイバーシティ」と「従業員のダイバーシティ」という、二つの重要な意味を持っています。SUBARUは、「商品のダイバーシティ」を追求すると同時に、「SUBARUグループで働くすべての人々のダイバーシティ」を推進していきます。

▶ [CSR重点6領域選定プロセス](#)



## 基本的な考え方

S U B A R Uのフィールドである「大地と空と自然」を将来世代へ伝承するため、企業活動全体で環境に配慮していきます。

## 重要と考える理由

S U B A R Uは、2017年度に環境方針を改定しました。その中で「大地と空と自然」をS U B A R Uのフィールドと定め、自然との共生を目指す取り組みへの注力を掲げました。これは、自動車と航空宇宙事業を柱とするS U B A R Uの事業フィールドである「大地と空と自然」を大切に守っていききたいという想いを込めたものです。豊かな「大地と空と自然」が広がる地球環境があってこそ、社会とS U B A R Uの持続性が可能になるという考えのもと、オールS U B A R Uで地球環境保護に取り組んでいきます。

- ＞ CSR重点6領域選定プロセス
- ＞ 継続的なCSRの取り組み：環境



## S U B A R UグループのCSR重点領域： コンプライアンス



S U B A R UグループのCSR重点領域

コンプライアンス

### 基本的な考え方

法令や社会規範を守って業務が遂行できている、そしてコンプライアンス重視・優先の考え方がS U B A R Uグループで働くすべての人々に浸透し、実行されている企業になります。

### 重要と考える理由

S U B A R Uは、業務遂行において社会規範への意識が欠如していたことや社内ルールの不備、また業務遂行に関連する法令の理解が乏しかったことなどへの反省から、意識改革の必要性を痛感し、徹底した組織風土改革を推し進めています。お客様をはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、共感される存在となることを目指し、S U B A R Uグループ一丸となってコンプライアンス重視、優先の取り組みを進めていきます。

- › CSR重点6領域選定プロセス
- › マネジメント：コンプライアンス